

前半は、クラシック音楽のなかでも有数の人気曲、組曲「カルメン」より『闘牛士』『ハバネラ』『ジプシーの踊り』で華麗にコンサートの幕開けを飾り、続く2曲目では、当シリーズ12年振りの登場となる村治佳織がクラシック・ギター協奏曲の代表曲「アランフェス協奏曲」を披露します。“クラシック音楽の殿堂”サントリーホールでの昼下がり、ギターとオーケストラの共演による贅沢な時間をお楽しみいただけます。

後半は、世界中で愛聴されている、ドヴォルザークの「新世界より」をお届けします。アメリカで長く研鑽を積み活躍の場を広げてきた原田慶太楼が、同じくアメリカで作曲されたこの名作をどのように指揮するのか、コンサートのハイライトのひとつです。初の共演となる原田慶太楼と東京都交響楽団の紡ぎだす音楽にご期待ください。

なお、当コンサートは新型コロナウイルス感染拡大防止のガイドラインに準じた対策を講じて開催いたします。

【公演概要】

◆タイトル

MIKIMOTO 第64回 日本赤十字社 献血チャリティ・コンサート New Year Concert 2021

◆公演日時

2021年1月23日（土）14:00開演（13:15開場）

◆会場

サントリーホール 大ホール（東京都港区赤坂1-13-1）

◆発売日

先行発売：2020年12月3日（木）10:00～12月10日（木）[ソニー音楽財団オンラインチケット・チケットぴあ・イープラス]

一般発売：2020年12月11日（金）10:00～

◆チケット情報（全席指定・税込）

S席：6,000円／A席：4,500円／B席：3,000円／P席：2,000円

※P席はステージ後方の座席です／未就学児入場不可

◆出演

原田慶太楼（指揮）

村治佳織（ギター）*

東京都交響楽団（管弦楽）

◆演奏予定曲

ビゼー：組曲「カルメン」より『闘牛士』『ハバネラ』『ジプシーの踊り』

ロドリゴ：アランフェス協奏曲*

ドヴォルザーク：交響曲 第9番 ホ短調 op.95「新世界より」

※やむをえず、出演者・曲目が変更になる場合がございます。

※新型コロナウイルスの感染予防・拡散防止への対応策として、収容定員の約半数の座席を販売いたしますが、状況に応じて座席の追加販売を行う場合がございます。

※チケットご購入の前に、当財団ウェブサイト掲載の「ご来場される皆さまへの大切なお願い」を必ずお読みください。

◆主催

公益財団法人ソニー音楽財団 (Sony Music Foundation)

◆共催

公益財団法人東京都交響楽団

◆協賛

ミキモトグループ【株式会社ミキモト／株式会社御木本真珠島／御木本製薬株式会社】

◆後援

日本赤十字社

◆チケット取扱い

- ・ソニー音楽財団オンラインチケット <https://www.smf.or.jp/>
- ・チケットぴあ〈インターネットのみ〉 <https://t.pia.jp/> (Pコード：189-308)
- ・イープラス <https://eplus.jp/>
- ・サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 (休館日を除く10:00～16:00)
- ・都響ガイド <https://www.tmsso.or.jp/> 0570-056-057 (平日10:00～18:00)

◆お問い合わせ

公益財団法人ソニー音楽財団 (Sony Music Foundation) 03-3515-5261 (平日10:00～18:00)

【財団概要】

名称：公益財団法人ソニー音楽財団(Sony Music Foundation)

理事長：水野道訓

設立：1984年10月2日

所在地：〒102-8353 東京都千代田区六番町 4-5 SME 六番町ビル

URL：<https://www.smf.or.jp/>

MIKIMOTO 第64回 日本赤十字社 献血チャリティ・コンサート New Year Concert 2021

【出演者プロフィール】

●原田 慶太楼（指揮） Keitaro HARADA, Conductor



現在、アメリカ、ヨーロッパ、アジアを中心に目覚ましい活躍を続けている期待の俊英。

シンシナティ交響楽団およびシンシナティ・ポップス・オーケストラ、アリゾナ・オペラ、リッチモンド交響楽団のアソシエイト・コンダクターを経て、2020年シーズンから、アメリカジョージア州サヴァンナ・フィルハーモニックの音楽&芸術監督に就任。

オペラ指揮者としても実績が多く、アリゾナ・オペラやノースカロライナ・オペラに定期的に出演、シンシナティ・オペラ、ブルガリア国立歌劇場でも活躍。

2010年タングルウッド音楽祭で小澤征爾フェロー賞、2013年ブルーノ・ワルター指揮者プレビュー賞、2014・2015・2016・2020年米国ショルティ財団キャリア支援賞受賞。2009年ロリン・マゼール主催の音楽祭「キャットソルトン・フェスティバル」にマゼール本人の招待を受けて参加。11年には芸術監督ファビオ・ルイジの招聘によりPMFにも参加。

1985年東京生まれ。インターロッケン芸術高校音楽科において、指揮をF.フェネルに師事。

オーケストラやオペラのほか、室内楽、バレエ、ポップスやジャズ、そして教育的プログラムにも積極的に携わっている。

2021年4月より東京交響楽団正指揮者に就任する。

オフィシャル・ホームページ <http://kharada.com/> @KHconductor

●村治 佳織（ギター） Kaori MURAJI, Guitar



幼少の頃より数々のコンクールで優勝を果たし、ピクターより15歳でCDデビューを飾る。1996年には、イタリア国立放送交響楽団との共演がヨーロッパ全土に放送され好評を得た。フランス留学から帰国後、積極的なソロ活動を展開。N響ほか国内主要オーケストラ及び欧州のオーケストラとの共演も多数重ね、2003年英国の名門クラシックレーベルDECCAと日本人としては初の長期専属契約を結ぶ。受賞歴も多く、第5回出光音楽賞、村松賞、第9回ホテルオークラ音楽賞を受賞。

2012年NHK-Eテレ「テレビでフランス語」や、J-WAVE(FM)のナビゲーターなど、多数の番組に出演。2017年4月より J-WAVE「RINREI CLASSY LIVING」のナビゲーターを担当している。11月には、ベストドレッサー賞

（学術・文化部門）を受賞。

2018年9月にリリースした『シネマ』は、第33回日本ゴールドディスク大賞インストゥルメンタル・アルバム・オブ・ザ・イヤーを受賞。2019年1月アランフェス協奏曲を連続4公演成功させる。6月には横浜開港記念式典での記念コンサートに出演し好評を博す。12月には、サントリーホール・大ホールにてソロリサイタルを行い、満席の中成功を収めた。

オフィシャル・ホームページ <http://www.officemuraji.com>

●東京都交響楽団（管弦楽） Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra



東京オリンピックの記念文化事業として1965年東京都が設立（略称：都響）。2020年に創立55周年を迎えた。現在、大野和士が音楽監督、アラン・ギルバートが首席客演指揮者、小泉和裕が終身名誉指揮者、エリアフ・インバルが桂冠指揮者を務めている。

定期演奏会などを中心に、小中学生への音楽鑑賞教室（50回以上／年）、青少年への音楽普及プログラム、多摩・島しょ地域での出張演奏、ハンディキャップを持つ方のための「ふれあいコンサート」や福祉施設での訪問演奏のほか、2018年からは、誰もが音楽の楽しさを体感・表現できる“サラダ音楽祭”を開催するなど、多彩な活動を展開。

CDリリースは、インバルによる『マーラー：交響曲全集』のほか、交響組曲『ドラゴンクエスト』（全シリーズ）や『Fate/Grand Order』などのゲーム音楽まで多岐にわたる。

「首都東京の音楽大使」たる役割を担い、これまで欧米やアジアで公演を成功させ、国際的な評価を得ている。

公式WEBサイト <https://www.tmso.or.jp/>

公式YouTubeチャンネル <https://www.youtube.com/user/TMSOMovie>